

平成29年度 新潟県IT&ITS推進協議会支援協力事業

ロボットを使った 「地域のIT技術教育環境」改善事業

特定非営利活動法人
新発田科学技術教育ネットワーク

IT&ITS推進協議会支援協力事業

市の課題

- ◎ 若者の定住の促進
 - 若者が働く職場の確保



市の支援策

- ◎ ITで起業する若者への支援
 - 青少年のIT技術の育成

地域のIT技術教育環境の改善・
発展が喫緊の課題である。

実施上の課題

地域のIT技術教育環境が脆弱なこと



ロボットを使った「地域のIT技術教育環境」改善事業

事業の目的

地域の未来を拓くIT人材を育成するため、官・学・民共催で画像認識とIoTを核にした「IT人材育成講座」を実施することで「地域のIT技術教育環境」をさらに改善・発展させる。

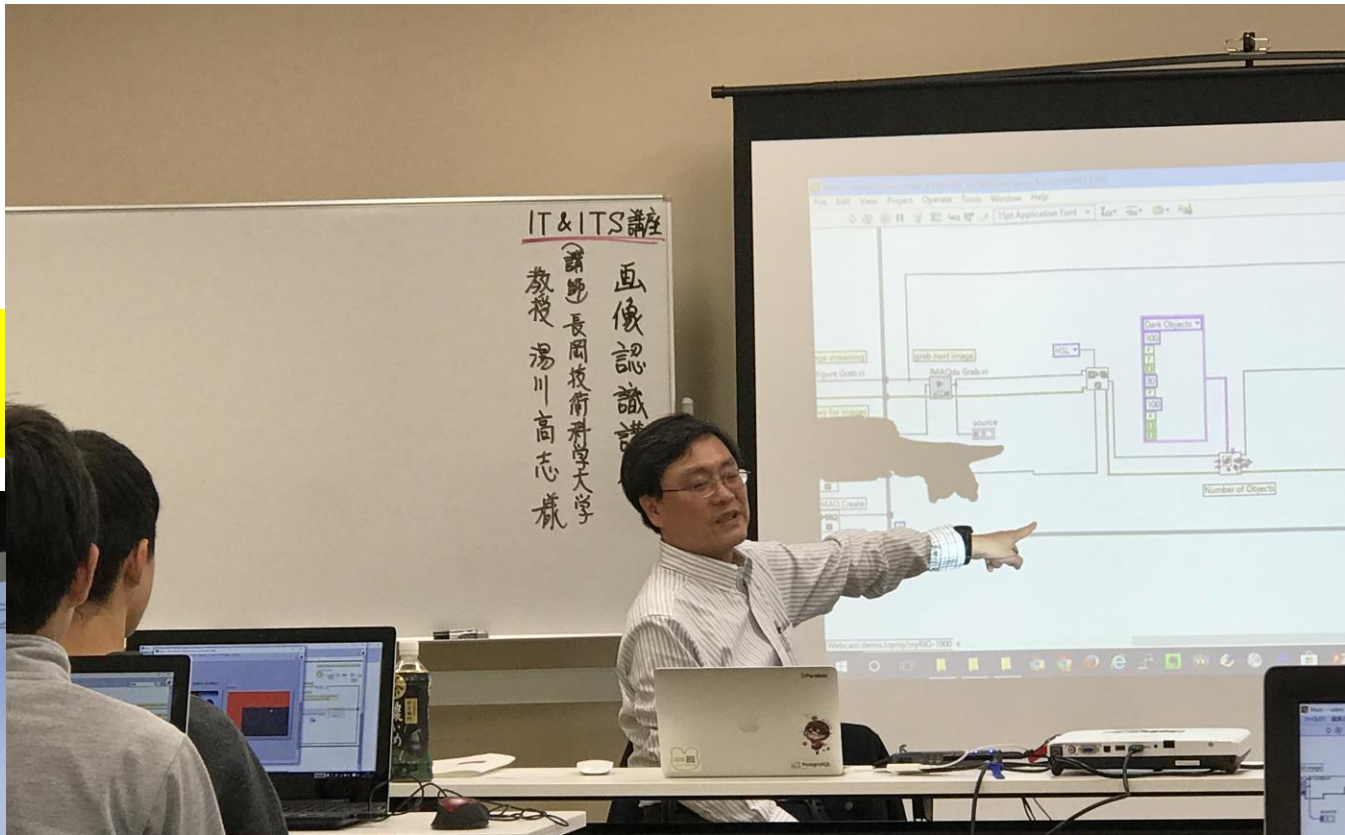
「地域のIT技術教育環境」の改善と発展

- 「地域のIT教育環境を改善する」上で**早期に最新の**「IT人材育成講座」実施することが有効であることを確信した。
- 新潟職業能力開発短期大学校との連携が地域IT技術教育の「コミュニティ作り」には重要である。

H29 画像認識とIoTで



H30 音声認識とIoTで



NPO法人がめざす姿【全体像】

最終目標

『人の役に立つロボット』設計と製作

目的 Rescue Robot 作成講座
・ Raspberry Pi や myRIO を使った人を助ける (Rescue)
Robot を作成する “技術” と “知識” を学ぶ

iOS App 作成講座
・ 目的 コミュニケーション言語を使って
人の役に立つ App を作成する

「科学の学校」事業

目的 最新の情報通信技術を小学生にわかりやすく伝える講座を実施する
これにより “科学に興味と関心” を伸ばせる
・ 方法 外部の専門家を招待して講座を実施する
・ 内容 最新 IoT, 画像認識 etc

科学の学校講座

Scratch で制御する
BricPi を使った
ロボット制御の挑戦

桑名市ロボット教室実施事業

目的 論理的思考力の育成・向上
コミュニケーション能力の育成・向上
(英語力) フォン能力の育成・向上
・ 方法 毎週土曜日 9時~4時
年間3回のロボット大会出場
をめざして活動する
wro FL RobCup Jr.

Scratch 講座

目的 児童向け言語で決まり Scratch を
使用した Program の基礎を習得する
・ 方法 内容は 随時決定

「IT技術教育環境改善」について（成果）

- 小学生でもC言語でプログラムを作成する児童が誕生
- 中学生3年生チームが、WRO2017全国大会優勝！
- WRO2017世界大会で5回連続パーフェクト走行(2017年11月コスタリカで開催)
- FLL Jr2017-2018で世界大会出場権を獲得(2018年7月名古屋)
- 「地域ICT/IoTクラブ」設立に向けて新発田市と聖籠町、NPO法人が連携して、地域のICT教育を実施していく（申請準備中）
- **地域で起業する人材育成**を目指した企画をさらに推進したい。

全体講成

地域 ICT/IoT クラブ 活動 (2018. 5. 8 作成)

